

平成28年12月教育委員会定例会 会議録

平成28年(2016)12月27日(火)午後2時、出雲市教育委員会定例会を市民応接室に招集した。

1. 会議に出席した委員

教 育 委 員 長	本 田 惠 子
教育委員(委員長職務代理)	松 浦 剛 司
教 育 委 員	下 手 泰 子
教 育 委 員	小豆澤 貴洋
教 育 長	楨 野 信 幸

2. 説明のため会議に出席した者

教 育 部 長	杉 谷 学
教育部次長(教育政策課長)	小 山 裕 美
教育部次長(学校教育課長)	安 井 孝 治
児童生徒支援課長	竹 田 博 司
教育施設課長	金 山 隆 司
学校給食課長	木 代 伸 治
出雲科学館館長	山 本 利 明
保育幼稚園課長	坂 本 伸 仁
学校教育課主査	佐 藤 協
児童生徒支援課課長補佐	松 井 博 之
保育幼稚園課課長補佐	鬼 村 修 治

3. 会議の書記

教 育 政 策 課 主 査	和 田 貢
---------------	-------

4. 傍聴者

2人

開会

(本田委員長) 只今から、平成28年12月出雲市教育委員会定例会を開会します。本日の会議はお手元に配付しております日程のとおり行います。

1. 会議録の承認

(本田委員長) それでは会議録の承認に入ります。11月定例会の会議録について、何か意見がありましたでしょうか。

(各教育委員) ありません。

(本田委員長) 特に意見等ありませんので、11月定例会の会議録については承認いたします。

2. 教育長行政報告

(本田委員長) 次に、行政報告について、槇野教育長に報告願います。

(槇野教育長) (以下、報告項目のみ掲載)

(1) 前回以降の動向

- H28.11.26 古志地区同和教育研究発表会
- H28.11.29 市議会初日 ~12.19
- H28.12.1 市議会一般質問 ~12.6
- H28.12.3 佐香地区同和教育研究発表会
- H28.12.7 田儀小・岐久小再編統合推進委員会
- H28.12.9 市議会文教厚生常任委員会
- H28.12.14 市議会予算特別委員会
- H28.12.15 校長の会議
- H28.12.15 まちづくり懇談会(稗原)
- H28.12.19 市議会最終日
- H28.12.20 小中連携推進委員会
- H28.12.26 総合教育会議
- H28.12.27 定例教育委員の会議

(2) 今後の予定

- H28.1.4 仕事始め式
- H28.1.8 消防出初式

- H28. 1. 8 成人式
- H28. 1.13 校長の会議
- H28. 1.13 教育政策審議会
- H28. 1.17 管内教育長会
- H28. 1.20 市議会全員協議会
- H28. 1.20 県いじめ問題対策連絡協議会
- H28. 1.20 まちづくり懇談会(乙立)
- H28. 1.24 定例教育委員の会議

(3) 12月定例市議会一般質問

No.	議員氏名	質問要旨
1	川上幸博	<p>出雲市での「生きる力」に取り組む教育的意義と取り組み状況について伺う</p> <p>① 文部科学省の学習指導要領では、子供たちの「生きる力」を一層育むとされているが、出雲市教育委員会の取り組み状況を伺う。</p> <p>② 学習指導要領の中に、学校で体験活動や道徳教育などを充実すると明記してある。学校だけで、体験活動の充実が図られるのか、または地域や青少年育成団体との連携をいかに図られるのか伺う。</p> <p>③ 「生きる力」の育成のために、スポ少やボーイスカウトなどの青少年団体へ加入し、体験活動をすることが必要と考えるが、教育長の所見を伺う。</p> <p>④ 子供は未来の出雲市を創る人材である。「生きる力」を付ける活動を行うためには予算的措置が必要と考えるが、考えを伺う。</p>
2	井原優	<p>1 就学援助制度の拡充について</p> <p>「新入学児童生徒学用品費」は文房具や辞書、制服やランドセル、通学用自転車など、入学前に学校生活に必要なものを買う費用として支給され、現在の国の単価は、小学生が2万470円、中学生は2万3550円である。</p> <p>保護者の間では、制服など入学前の実際の負担額に対し、支給額が少ないこと、入学前に支給してほしいなどの声が上がっている。そこで伺う。</p> <p>① 就学援助制度の周知、申請方法・申請時期について伺う。</p> <p>② 就学援助の認定基準の緩和ができないか伺う。</p> <p>③ 就学援助のクラブ活動費、生徒会費、PTA会費などの支給の拡充ができないか伺う。</p> <p>④ 初回の支給は早めることができないか伺う。(文科省も児童生徒が援助を必要とする時期に、速やかに支給できるよう十分配慮するよう通知している。)</p>

		<p>2 小中学校、幼稚園、保育所の耐震化について</p> <p>10月21日(金)鳥取県中部を震源とする(最大震度6弱、マグニチュード6.6、深さ10キロメートル)地震が発生した。地震は、いつでも起きてもおかしくない。</p> <p>① 市内の小学校、中学校、幼稚園、保育所の耐震化の状況を伺う。</p> <p>② 出東幼稚園の保護者から、耐震性に問題はないのか、老朽化が進んでいるが、早く改築して欲しいとの要望が寄せられている。所見を伺う。</p>
3	飯塚俊之	<p>学校体育の現状と取り組みについて</p> <p>① 学校体育の役割と意義</p> <p>② 学校体育の取り組み状況と課題</p> <p>③ 体力テストによる現代の児童生徒の傾向と問題点</p> <p>④ 今後の学校教育に対する取り組み方針</p>
4	小村吉一	<p>1 学校の統廃合について問う</p> <p>学校再編計画が発表されてから5年が経過した。朝山小学校と乙立小学校との統合、国富小学校、西田小学校、北浜小学校、鱈淵小学校、塩津小学校との統合については、いまだ結論に至っていない。そこで伺う。</p> <p>① 現在、どのような進行状況にあるのか。</p> <p>② 今後、どのように推移するのか。また、どのようにされようとしているのか。</p> <p>③ 国富小学校、西田小学校、北浜小学校、鱈淵小学校、塩津小学校との統合については、最初の計画に対して、主として財政的理由から修正された計画である。元の計画に戻すか、または白紙に戻す考えはないのか伺う。</p> <p>2 本市の学校教育の向上を求めて</p> <p>① 国の全国一斉通年悉皆「学力調査」(学力テスト)実施の主な目的は、教育内容を含めた学校教育を統一・支配することにあると考えるが、その可否を含めてどのように考えているのか伺う。</p> <p>② 教育委員会は、学力テスト(市の実施を含めて)は、「学力の一部で全部でない」と言っている。それでは、学力の全部とは何なのか。また、そこで求められる「出雲の子ども像」とは何か伺う。</p> <p>③ 今、本市の学校教育での問題点、克服すべき課題は何だと考えているのか伺う。</p> <p>④ その課題について、どのように対処し、克服に向けて努力されているのか伺う。</p>
5	板垣成二	<p>ツキノワグマに対する小・中学校での危険防止対策について</p> <p>近年、全国的にツキノワグマの出没回数が増加し、人的被害もニュース等で伝えられている。小中学生が登下校時に遭遇する危険性も否</p>

		定できない。 ① 出雲市におけるツキノワグマ出没状況 ② 小・中学校での対策の現状と、教育委員会としての対応について伺う。
6	勝部順子	平成29年度からの島根県公立高校の入試制度改革 ① 高校入試制度改革に対する、出雲市教育委員会の見解について伺う。 ② 制度改革を受けて、今後の進路指導の方向性、方針についての教育委員会の考え方を伺う。

(本田委員長) 只今の教育長の行政報告について、質問等がありますか。

(各教育委員) なし。

3. 議事

(本田委員長) それでは、議事にはいります。「議第27号 出雲市立幼稚園条例施行規則の改正について」を、 保育幼稚園課 坂本課長 に説明願います。

(坂本課長) 資料に基づき説明。

(本田委員長) 只今の、議第27号について、何か質疑等はありませんか。

(小豆澤委員) 朝7時半からの預かりと朝8時半からの預かりと、2パターンある理由を教えてください。

(坂本課長) 朝7時半からの早朝預かり、それから夕方6時半までという長時間にわたる預かりにつきましては、合併前からの経緯もありますし、近くに保育所が少ないという幼稚園につきましては、長時間の対応をしております。今後につきましては、午後2時半から4時半まで、降園後2時間という預かり保育事業を実施していく考えです。

(小豆澤委員) 預かり保育の時間が短い幼稚園の地区に住んでいて、預かり保育の時間の長い幼稚園に行けるのですか。

(坂本課長) 校区はきちんと定めてはおりませんが、お迎え等もありますし、小学校へのつなぎということもありますので、小学校区内の幼稚園ということをお前提にしております。

(小豆澤委員) 近隣に保育所があるというお話ではありましたが、どちらかというところと幼稚園を利用する児童の保護者ニーズというよりは、運営する側の体制によって延長時間が決まっているというように見て取れますので、そのあたりがいかかなものかなというところを、若干申し上げたかったところです。

(坂本課長) 保育所と幼稚園の区分けと言いますか、保育所につきましては共働きという核家族も増えておりますので、保育所のニーズは高いことは高いですけれども、3歳以上につきましては、教育的な立場を重視されるご家庭もあります。そうはいつても、やはり少しでも働きたいということもありますので、幼稚園について少し時間を延長することを、進めて参りたいと考えております。

(本田委員長) 幼稚園は、5時間が基本でしたでしょうか。

(坂本課長) 8時半から2時半までですが、実際は9時から2時で、登園時間30分と降園時間30分もお預かりしているということです。

(本田委員長) 確か5時間が基本になっていて、親元を離れて幼児を預かったり集団生活をするのは5時間が望ましいので、延長しているのは保護者のニーズによって、幼稚園が対応できるだけ便宜を図っているということですね。

(坂本課長) そうですね。5時間は幼児教育の時間ということで、その前後に登園と降園の30分ずつを加えておりますが、その後の2時半から4時半までは、あくまでも一時預かりで、家庭の事情もあると思いますし、そういったニーズが高いということで始めております。

(本田委員長) 小豆澤委員さんのご意見としては…

(小豆澤委員) 今のお話はわかりませんが、単純に預かり時間のずれが、地域というか施設によって異なるということが、何によって生じているのか、これが運営側の事情なのか、保護者側の理由なのか、どちらが優先されていたのかなと思いました。

(坂本課長) 合併前から預かり事業をやっていたら幼稚園は、6時半まででした。ですが先ほど言いましたように、保育所と幼稚園の住み分けという部分で、今は4時半までということまでいきたいと考えております。ただ、今までの流れがありまして、一気に4時半まで縮めるということができないものですから、そこについては6時半ということにしております。

(小豆澤委員) どちらかというところ、8時半から午後4時半というのが、基本的な体制だと考えればいいということですか。

(坂本課長) はい。そう考えております。

(小豆澤委員) わかりました。

(本田委員長) ほかにありませんか。

(各教育委員) なし。

(本田委員長) 特に質疑等がないようですので、議第27号について、承認してよろしいですか。

(各教育委員) 異議なし。

(本田委員長) ご異議ありませんので、議第27号については承認します。

(本田委員長) 次に「議第28号 出雲市立学校における地域学校運営理事会理事の辞任及び任命について」を、教育部 小山次長 に説明願います。

(小山次長) 資料に基づき説明。

(本田委員長) 只今の、議第28号について、何か質疑等はありませんか。

(各教育委員) なし。

(本田委員長) 特に質疑等がないようですので、議第28号について、承認してよろしいですか。

(各教育委員) 異議なし。

(本田委員長) ご異議ありませんので、議第28号については承認します。

(本田委員長) 次に「議第29号 出雲市市立幼稚園における幼稚園運営協議会委員の辞任及び任命について」を、保育幼稚園課 坂本課長 に説明願います。

(坂本課長) 資料に基づき説明。

(本田委員長) 只今の、議第29号について、何か質疑等はありませんか。

(各教育委員) なし。

(本田委員長) 特に質疑等がないようですので、議第29号について、承認してよろしいですか。

(各教育委員) 異議なし。

(本田委員長) ご異議ありませんので、議第29号については承認します。

4. 報告

(本田委員長) それでは、報告事項に入ります。報告(1)「第3期出雲市教育振興計画(案)について」を、教育部 小山次長 に説明願います。

(小山次長) 資料に基づき説明。

(本田委員長) 只今の、報告(1)について、何か質問等はありませんか。

(下手委員) パブリックコメントは、何かありましたか。

(小山次長) まだ、ありません。小中学校長会等でも、校長先生方にお話をして、現場の先生方に見ていただいてご意見をいただきたいと、お願いしております。これからあると思います。

(下手委員) 市のホームページにありますか。

(小山次長) はい。20日に掲載しました。

(本田委員長) 次に、報告(2)「校外活動における安全管理・安全指導の徹底について」を、児童生徒支援課 竹田課長 に説明願います。

(竹田課長) 資料に基づき説明。

(本田委員長) 只今の、報告(2)について、何か質問等はありませんか。

(松浦委員) 確認ですが、このことを12月15日の校長会でお話されたのですか。

(竹田課長) はい。

(松浦委員) 結構ボリュームもありますが、もしよければ校長先生方の反応というか、

いろいろな意見があったのか、どういう感じだったのですか。

(槇野教育長) 校長会では、それぞれが事故を大変重く受け止めておられまして、この説明に当たっても、非常に真剣に聞き入るといった感じの印象を受けました。特に質問や意見はほとんど無くて、基本的にこれを受け入れられたと受けとめました。一部で、そのチェックをやっていく中で人員がもっと必要だとなったときに、学校に残った子どもの対応といますか、通常授業を行う学年もあるわけですから、それと修学旅行についていける体制にもおのずと限界があるということから、そういった意味で引率の体制が十分に組めない事態が生じたときにはどうするのか、という質問がありました。それぐらいでしたよね。

(竹田課長) はい。それと同じ校長の意見で、必要なことだ、大切なポイントが網羅されているという感想も言われました。ですから内容については、チェックの項目として、校外活動をするにあたって使えそうな感じがするというような意見がありました。

(松浦委員) この校外活動の定義は、修学旅行のほかにはどういったものがありますか。

(竹田課長) 宿泊体験とか、遠足、社会科見学、そういったものがあると思います。

(松浦委員) それで、その際はすべてこれが適用ということですか。

(竹田課長) 提出が必要なのは宿泊を伴うものですが、そのほかは提出を求めません。

(松浦委員) 宿泊に限って、このチェックリストが発生するということですか。

(竹田課長) 提出する必要があるのは修学旅行とか、宿泊体験とかいうところになります。

(松浦委員) 部活動も、宿泊が入ってくれば・・・

(竹田課長) 部活動は教育課程外ですので、提出まではしませんが、チェックリストで事前にチェックしていくということになります。教育委員会への提出ということではないです。

(松浦委員) 部活動の場合だと、手薄になりがちですよ。結局リストを作っても、やはり使う側の人の意識が、一番重要になってくると思います。いくらい資料でも、毎年毎年それを言っていくし、確認していくしかないということでしょうかね。

(竹田課長) はい。やはりこのチェックリストを活用する中で、教員の危機管理の意識が高まっていくという狙いもありまして、安全意識ということが、すべての教員にとつ

て、きちんと常時意識されるものに高まっていけばと思います。活動によってどういう体制を組めるかということは、まだまだ実際にこれを使って学校も考えなくてはいけませんし、すべてにおいてこのチェックリストが有効かどうかは、実際に使ってみないとわかりませんので、本当に有効性のあるものにしていくためには、見直しを図りながらいいものにしていきたいと思っています。今、ようやくできたところですので、使いながら、本当に役に立つものにしていきたいと考えております。

(松浦委員) わかりました。

(下手委員) かなり細かいところまでチェックがあると思いますが、修学旅行は、事前に現地に行ってみられるんですか。

(竹田課長) なかなか遠方でできませんので、修学旅行の業者等がそういう情報を持っていますので、そこを通して確認していくということが、実際は多くなると思います。

(下手委員) AEDのことも書いてありますが、これは全員が使えるように研修しておられるわけですか。

(竹田課長) 研修につきましては、消防署と連携したアクションカードを使った研修を、今年度から実施するように各学校に言っております。

(下手委員) 実際のものを使ってみるものですか。

(竹田課長) 救急救命につながまでに、それぞれ集まった人が、役割分担のカードをひとつずつ手渡ししながら、役割分担を明確にしていくという方法が、出雲消防署で開発されています。その研修を今年度からやっております、それを活用していきたいと思っています。もともとプール使用の前の時期は、アクションカードを使わないまでも、救命の研修はどこの学校もやっております。ただ、こういう校外活動についても、例えばその前に研修を入れるとかいうことも、今後は検討していかなくてはいけないと思っています。一年に1回とかではなくて、何回かやりながら、その時期も考えながら、きちんと研修をすることによって、子どもの安全ということもありますし、有意義な活動ですのできちんと研修した上で、しっかりと校外活動が充実していくという、両面が必要だと思っています。

(本田委員長) 今までもそれぞれの学校で、こうしたものがあつたと思いますが、教育委員会が今、よりよいものを作って、それを示されたことで、安全確認の漏れというのが、とても少なくなるような感じがします。特に、「引率者行動計画表」というものを示されたので、どこで誰が何をしているか、あるいはすべきかということが、きちんと誰にもわかって、とても良くなったと思います。先ほどおっしゃいましたように、今高まっている危機管理意識が、薄れることが無いよう、毎年確認していただきたいと

思います。よろしくお願ひ致します。

(本田委員長) ほかにありませんか。

(各教育委員) なし。

(本田委員長) 次に、報告(3)「科学館講演会の開催について」を、出雲科学館 山本館長 に説明願ひします。

(山本館長) 資料に基づき説明。

(本田委員長) 只今の、報告(3)について、何か質問等はありませんか。

(各教育委員) なし。

5. その他

(本田委員長) 次に、「その他」に入ります。教育委員会の後援・共催事業について、教育部 小山次長 に説明を願ひします。

(小山次長) 資料に基づき説明。

(本田委員長) 只今の報告について、質問等はありませんか。

(各教育委員) なし。

(本田委員長) その他、委員の皆さま、あるいは事務局の方で、何かございますか。

(各教育委員) なし。

6. 次期教育委員会の開催時期

(本田委員長) 次期教育委員会の日程ですが、1月24日(火)の、午後2時から、市民応接室で開催いたします。それでは、以上をもちまして、教育委員会12月定例会を閉会します。

(14:57) 定例教育委員会閉会